



平成26年4月14日 富里第一小学校前から酒々井ICまで開通
～開通式での地元幼稚園児と卒園生によるお祝いの合唱の様子～

平成26年度当初予算など
二五議案を可決

一般会計	一五〇億三〇〇万円	／	
特別会計	九五億九、九四四万円	／	水道事業会計 一四億一、四六二万円

3月定例会は、2月21日から始まり、3月18日まで二六日の会期で開かれました。

市長から、平成26年度一般会計、各特別会計、水道事業会計の当初予算をはじめ、議案二四件が提出され、それぞれ原案どおり可決しました。また、委員会提出議案が一件提出され、原案どおり可決しました。

一般質問は、三会派の代表から会派代表質問が、個人質問は七人の議員が行い、市の諸問題について見解を求めました。

※表示単位未満四捨五入

※表示單位未滿四捨五入

● 庁舎施設改修事業

本庁舎の耐震補強工事及びエレベーターの設置をはじめとした、バリアフリー化改修工事を実施する。
(継続)

【二億二、五八六万円】

地球温暖化対策事業

地球温暖化防止対策の取り組みを推進するため、これまで実施されてきた住宅用太陽光発電システム設置に対する補助に加え、家庭用燃料電池システムや定置用リチウムイオン蓄電システムなども補助対象とする。(拡充)

【一、二九五万円】

病児・病後児保育事業

保護者が就労しているなどの理由により、子供が病気の際に自宅での保育が困難な場合の保育需要に対応するため、病院において病気の児童を一時的に保育するほか、保育中に体調不良となった児童への緊急対応を行い、安心して子育てができる環境を整備する。(新規)

【六六五万円】

子ども・子育て支援事業

本市域における子育てニーズを把握し、幼児期の教育及び保育など地域ニーズに応じた多様な子育て支援の充実を図る。（新規）

【三二九万円】

自主防災組織支援事業

地域防災力の向上を図るため、小学校区単位での自主防災組織の設立を支援する。また、平成25年度に制定した五年間の補助制度により、防災訓練などの自主防災組織の活動や、防災資機材の整備などに対する補助を実施する。（継続）

【二〇一万円】

新保健センター等建設特別委員会報告（抜粋）

本委員会は、平成24年12月定例会において、新保健センター等の建設について調査研究を行うことを目的に、全議員で構成する特別委員会として設置され、新保健センター等の建設について、市民の期待に応えられる施設となるよう調査研究して参りました。

以下、委員会の調査研究の経過についてご報告いたします。

まず、平成24年12月20日開催の第2回委員会から平成25年3月18日開催の第7回委員会まで、新保健センター等の基本計画や建設スケジュール、建設事業の財源及び市民活動サポートセンターの機能等に関する提言書について並びに基本設計業務の入札結果及び落札業者について説明を受け調査研究を行いました。

次に、6月10日開催の第9回委員会においては、参考人として基本設計業務受託者の(株)千町村建築研究所の鹿間氏を招き、基本設計について詳細な説明を受けました。続く、6月20日開催の第10回委員会から平成26年3月17日開催の第14回委員会までは、基本設計や市民活動サポートセンター機能について、また、地質調査業務や実施設計業務の進捗状況などについて説明を受けました。

これら各回の説明に対し、委員会は質疑や意見交換をする中で議会の意向を伝えるとともに、執行部においてもこれを尊重し、真に市民の期待に応えられる施設となるよう取り組んできました。

3月17日開催の第14回委員会において示された実施設計段階における資料等により、これまでの議論が反映されていることを確認したことから、本委員会としての役割は一定の成果をみることができたとして、本調査研究を終了することといたしました。

以上、報告を終わります。

(委員長 布川好夫)

議会の動き

- | | |
|---|--|
| <p>2月21日</p> <ul style="list-style-type: none"> ○開会 ○承認第一号 説明・質疑・討論・採決 ○議案第一号から第二三号まで説明 ○一般質問（会派代表三人） <p>2月25日</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般質問（個人三人） ○議案第一号 質疑・予算審査特別委員会設置・同委員会付託 <p>2月26日</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般質問（個人二人） <p>2月27日</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般質問（個人二人） ○議案第二号から第二三号まで質疑・委員会付託 ○陳情の件 | <p>3月3～6日</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇予算審査特別委員会 <p>3月10日</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇総務建設常任委員会 <p>3月11日</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇文教厚生常任委員会 <p>3月17日</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇新保健センター等建設特別委員会 ◇議会改革特別委員会 <p>3月18日</p> <ul style="list-style-type: none"> ○議案第一号から第二三号まで 委員長報告・質疑・討論・採決 ○陳情の件 委員長報告・質疑・討論・採決 ○新保健センター等建設特別委員会の調査報告について ○委員会提出議案第一号 説明・質疑・討論・採決 ○閉会 |
|---|--|

3月定例会の議案と議決結果		付託委員会	結果	市民クラブ								公明党		とみの風		無会派				賛成	反対		
				岡野耕平	田口勝一	戸村喜一郎	原清一	高橋益枝	猪狩一郎	栗原恒治	佐藤繁夫	大川原きみ子	布川好夫	江原利勝	五十嵐博文	井上康	高橋祐子	窪田優	櫻井優好			鈴木英吉	柏崎のり子
議案番号	件名																						
市長提出議案																							
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて	－	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第1号	平成26年度富里市一般会計予算	予算	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	－	×	15	2
議案第2号	平成26年度富里市国民健康保険特別会計予算	文教	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	×	16	1
議案第3号	平成26年度富里市下水道事業特別会計予算	総務	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	×	16	1
議案第4号	平成26年度富里市介護保険特別会計予算	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
議案第5号	平成26年度富里市後期高齢者医療特別会計予算	文教	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	×	16	1
議案第6号	平成26年度富里市公共用地取得事業特別会計予算	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
議案第7号	平成26年度富里市水道事業会計予算	総務	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	×	16	1
議案第8号	富里市消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定について	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
議案第9号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
議案第10号	富里市職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	×	16	1
議案第11号	富里市歯と口腔の健康づくり推進条例の制定について	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
議案第12号	富里市消防手数料条例の一部を改正する条例の制定について	総務	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	×	16	1
議案第13号	富里市立幼稚園保育料等徴収条例の一部を改正する条例の制定について	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
議案第14号	印旛郡市広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
議案第15号	富里市道路線の認定について	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
議案第16号	富里市道路線の変更について	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
議案第17号	平成25年度富里市一般会計補正予算（第6号）	総務 文教	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	－	○	16	1
議案第18号	平成25年度富里市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
議案第19号	平成25年度富里市下水道事業特別会計補正予算（第4号）	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
議案第20号	平成25年度富里市介護保険特別会計補正予算（第4号）	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
議案第21号	平成25年度富里市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
議案第22号	平成25年度富里市公共用地取得事業特別会計補正予算（第2号）	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
議案第23号	平成25年度富里市水道事業会計補正予算（第3号）	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
委員会提出議案																							
委員会提出 議案第1号	新聞への消費税軽減税率適用を求める意見書について	－	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
陳情																							
陳情第18号	新聞への消費税軽減税率適用を求める意見書の提出を求める陳情	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0

議 案 の 内 容

3 月定例会

承認 1	台風 2 6 号により被害を受けた農業者の負担軽減を図るため、融資機関が農業者に資金を貸し付けた場合における利子補給補助金を予算に計上するもの。	議案 15～16	開発行為により整備された道路の認定・変更をするもの
議案 1～7	平成 26 年度各会計当初予算 ※金額等詳細は P3 に掲載	議案 17	歳入歳出それぞれ 1 億 3,149 万 1 千円を減額し、総額を 146 億 3,414 万 8 千円とするもの
議案 8	国等の上位法令が制定・改正されたことにより、条例の制定を行うもの	議案 18	歳入歳出それぞれ 396 万 7 千円を減額し、総額を 62 億 5,155 万 5 千円とするもの
議案 9	代表監査委員の報酬額について、職責に照らし、他の特別職の職員との均衡を図るため、額を改定するもの また、不在者投票における外部立会人の報酬額を定めるもの	議案 19	歳入歳出それぞれ 5,044 万 2 千円を減額し、総額を 7 億 9,245 万 3 千円とするもの
議案 10	千葉県人事委員会の勧告に鑑み、初任給を中心に、若年層の職員に限定して給料表を引き上げ、高齢層の職員の昇給を抑制するもの また、消防吏員について、特殊勤務手当を規定するもの	議案 20	歳入歳出それぞれ 1 億 1,272 万 6 千円を減額し、総額を 20 億 9,379 万円とするもの
議案 11	平成 23 年 8 月 10 日に歯科口腔保健の推進に関する法律が施行されたことに伴い、各施策を総合的かつ計画的に推進するため、条例を制定するもの	議案 21	歳入歳出それぞれ 683 万 9 千円を増額し、総額を 2 億 5,989 万 9 千円とするもの
議案 12	平成 26 年 4 月 1 日からの消費税率 8％への引き上げに伴い、手数料の一部を改正するもの	議案 22	歳入歳出それぞれ 6 万 1 千円を減額し、総額を 116 万 5 千円とするもの
議案 13	規則で運用してきた「預かり保育」を、条例で定めるもの	議案 23	収益的収入は、営業外収益を 1,611 万 3 千円増額し、収益的支出は営業費用を 26 万 5 千円、特別損失を 358 万円増額するもの
議案 14	印旛地域農林業センターが県から本市に移管されることに伴い、規約の一部改正について協議するもの	委員会提出議案 第 1 号	国が、消費税引き上げに際し、新聞への軽減税率を適用するよう求める意見書を提出するもの

会 計	平成 26 年度		平成 25 年度		対前年度比較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減額	増減率
一般会計	15,003,000	61.0	13,802,000	60.1	1,201,000	8.7
特別会計						
国民健康保険特別会計	6,128,092	24.9	5,934,008	25.9	194,084	4.9
下水道事業特別会計	826,025	3.4	832,696	3.6	△ 6,671	△ 0.8
介護保険特別会計	2,361,654	9.6	2,129,450	9.3	232,204	10.9
後期高齢者医療特別会計	283,286	1.2	250,741	1.1	32,545	13.0
公共用地取得事業特別会計	386	0.0	1,220	0.0	△ 834	△ 68.4
企業会計						
水道事業会計	1,414,619	—	1,383,019	—	1,652,328	7.2

予算審査特別委員会 委員長報告

委員長 布川好夫

議案第一号 平成26年度富里市一般会計予算について、

四日間にわたり、議場にて、

「総括・総務関係」、「健康福祉・環境関係」、「教育委員会関係」、「市民経済・都市建設関係」について、市長、副市長、教育長

及び関係部課等の長、出席のもと慎重に審査を行いました。

以下、審査の経過と結果についてご報告いたします。

平成26年度一般会計予算は、前年度比八・七％の増の総額一五〇億三〇〇万円で、平成23年度一般会計予算に次ぐ規模の予算編成となりました。

平成26年度予算の主な特徴として、

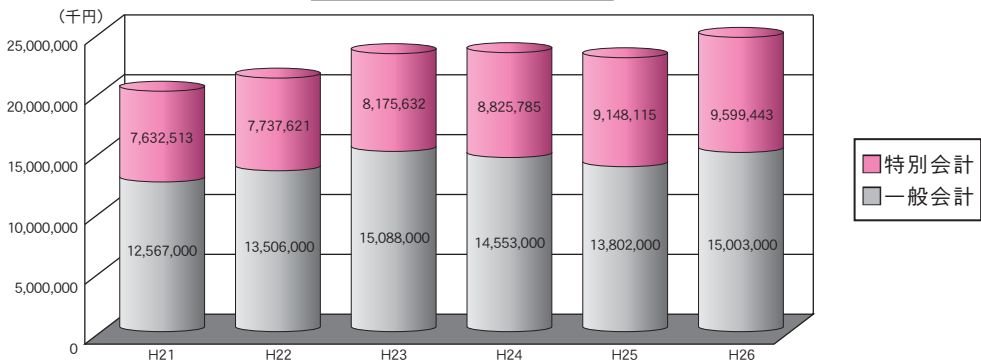
歳入について、

市税は、法人市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税などの増加を見込み、六年ぶりの増収となり、全体では前年度比一億三、六九八万円、二・五％の増の五六億八、九二七万二、〇〇円となりました。

歳出については、

普通建設事業費では、学校給食センター施設統合事業一二億一、四四二万二、〇〇〇円の増、庁舎施設改修事業一億九、九二九万八、〇〇〇円の増、新保健センター等建設事業一億二、一七七万八、〇〇〇円の増など、全体では前年度比一三億八、五一九万八、〇〇〇円、一二四・二％増の二五億二七万四、〇〇〇円となりました。

予算規模の推移



主な新規事業につきましては、

- ・子育てニーズを把握し、幼児期の教育と保育など地域のニーズに応じた多様な子育て支援を図る、子ども・子育て支援事業。
- ・保護者が就労しているなどの理由により、子どもが病気の際に自宅での保育が困難な場合の保育需要に対応するため、病院において病気の児童を一時的に保育するなどの病児・病後児保育事業。
- ・救急救命士を養成し、救命率の向上を図る救急救命士養成事業です。

質疑についてですが、

各委員から、多岐にわたる質疑等がありましたが、ここでは、意見・要望のありました何点かについて申し上げ、報告いたします。

・4月からの消費増税に伴う公共施設の利用料金の変更に ついて、ホームページ等での周知に配慮願いたい。

・消防団車両について、更新にあたっては、最新の情報収集に努め、災害に対応できる車両の配置を検討されたい。

・職員研修について、研修を受けた職員が、習得した知識等を他の職員へつなげ、研修の効果を最大限に発揮されたい。

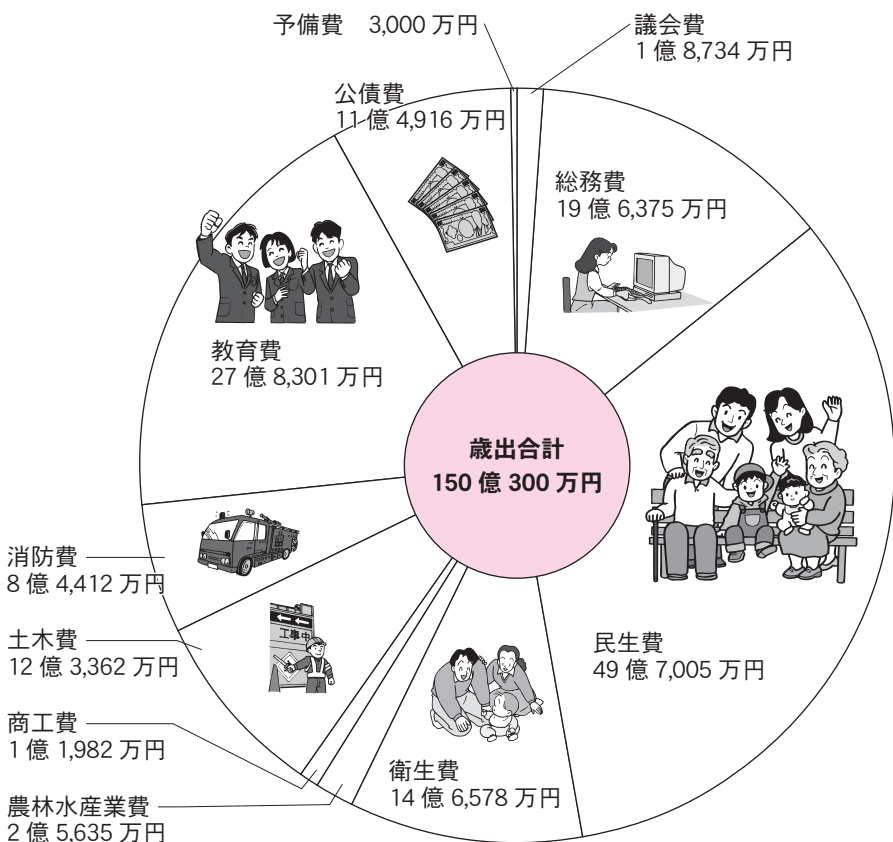
・複雑多様化する市民ニーズに対応するため、正規職員の採用を検討されたい。

・平和の大切さを肌で感じ取ってもらうため、広島・長崎を訪ねるような事業を検討されたい。

・私立保育園の処遇改善だけでなく、公立保育園についても改善し、充実した環境で子供たちの成長を支援していくことを配慮されたい。

・平成26年度の図書館開館日が一二日間ふえることに伴い、図書館司書の配置について配慮されたい。

平成 26 年度一般会計 (表示単位未満四捨五入)



・市の施策で取り組んできた英語教育が、英語科に教科化されるにあたっては、国の動向等注視し、対応願いたい。

・学校専門指導員について、予算・人員の確保を願いたい。

・教育委員会委員報酬については、職責を勘案し、報酬の見直しが必要であれば、検討されたい。

・観光PR用DVD、ガイドブックを活用し、富里市の観光推進に寄与するよう努められたい。

・防災行政無線については、伝達手法も含め、難聴地域解消に向け務められたい。

・七栄北新木戸地区土地区画整理事業について、大胆な予算投入など事業進捗に向けてさらなる検討をされたい。

以上、四日間にわたる真剣な質疑応答が終了し、採決の結果、議案第一号 平成26年度富里市一般会計予算は、賛成多数にて、原案のとおり可決されるべきものと決定しました。

最後に、執行部におかれては、審査を通じて出された数多くの議論や意見を真摯に受けとめ、平成26年度の市政運営に当たっては、限られた予算をより効果的に執行されるよう、要望いたします。予算審査特別委員会の審査報告といたします。

常任委員会の 審査から

総務建設常任委員会

総務建設常任委員会は、付託された議案一四件と陳情一件について、慎重に審査を行いました。主な議案について御報告いたします。

議案第一〇号、富里市職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について、改正による影響額について質疑があり、若年層職員の給料表の引き上げは約一七〇万円、五五歳を超える高齢層職員の昇給停止は約五〇万円、地域手当の廃止は約八、〇〇〇万円で試算しているとの説明でした。

議案第一七号、平成25年度富里市一般会計補正予算（第六号）について、都市計画総務費の減額について質疑があり、木造住宅耐震改修費補助金については、一五〇万円程度かかるため、なかなか結びついていないとの説明でした。

陳情第一八号、新聞への消費税軽減税率適用を求める意見書の提出を求める陳情については、消費税引き上げに際し、新聞への軽減税率の適用を実現することを要望する意見書を国に提出することを求める陳情です。

慎重に審査した結果、付託された全ての議案は、可決しました。また、陳情第一八号は、採択と決定しました。

（委員長 佐藤 繁夫）

文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会は、付託された議案九件について、慎重に審査を行いました。主な議案について御報告いたします。

議案第二号、平成26年度富里市国民健康保険特別会計予算について、国民健康保険税の徴収率の予測についての質疑があり、現年分八一・三五パーセント、滞納繰越分で一四・九パーセント、合計で四八・五三パーセントを見込んでいるとの説明でした。

議案第四号、平成26年度富里市介護保険特別会計予算について、基金の状況について質疑があり、現在三億九、〇〇〇万円ほどあり、万が一、不足が生じたときのため、一時借入金の子子相当分を予算計上しているとの説明でした。

議案第一七号、平成25年度富里市一般会計補正予算（第六号）について、小学校施設耐震化推進事業の、洗心小学校の耐震補強工事について質疑があり、統廃合の話は出ているが、学校として使用している以上、児童・生徒の安心・安全を図るため、夏休み期間中に工事を行うとの説明でした。

慎重に審査した結果、付託された全ての議案は、可決しました。

（委員長 大川原 きみ子）

一般質問

質の
る
は身
によ
す。
文自
にに
で
本者
稿の
も
※問
原も

通告項目（代表）

市民クラブ

- (1)OAシステムの運用について
- (2)協働のまちづくり推進計画について
- (3)富里北部コミュニティセンター等について
- (4)高齢者地域コミュニティ形成事業について
- (5)酒々井インター周辺地域等の土地利用について
- (6)二〇二〇年東京オリンピック開催決定について

公明党

- (1)平成26年度施政方針について
- (2)平成26年度予算編成について

とみの風

- (1)さらなる成長に向けた歳入増加の根源の強化について

通告項目（個人）

高橋祐子

- (1)学校給食について
- (2)過去の質問と要望の経過とその関連事項について

岡野耕平

- (1)ヤードについて
- (2)商工、サービスの活性化について
- (3)成田空港の現状について
- (4)災害対策について

布川好夫

- (1)防犯対策と管理について
- (2)東京オリンピック開催について
- (3)中小企業支援策について
- (4)健診（検診）事業について

井上 康

- (1)福祉の充実について
- (2)教育環境の向上について
- (3)高橋益枝

高橋益枝

- (1)文化芸術による「創造力・想像力」豊かな子供の育成
- (2)生活困窮者自立支援制度について
- (3)保育における新制度について

柏崎のり子

- (1)介護保険について
- (2)子ども・子育て支援新制度について
- (3)寡婦控除について
- (4)文化的財産のあり方と今後の対応について

窪田 優

- (1)学校給食事業について
- (2)高齢化社会への対応について

市民クラブ

戸村喜一郎

問 市ホームページの充実について



答 必要な情報を早く正確に掲載します

『二〇二〇年東京オリンピック開催』

問 東京オリンピック開催決定を受けて、市の受けとめ方は。

答 東京オリンピック開催を追い風として捉え、これからのまちづくりに生かす施策について調査研究を進めます。

『協働のまちづくり推進計画』

問 協働のまちづくり推進事業について。

答 平成25年度は、前期推進計画二九事業のうち、二二事業を実施しました。平成26年度は、協働のまちづくり講座、地域フォーラムなどの実施に加え、市民活動支援補助金をより活用しやすい制度となるよう見直しを行います。

問 市民活動サポートセンターの機能について、検討委員会の提言をどう生かしていくのか。

答 機能についての提言では、七つの支援力が求められています。これらを実現していくために、スタッフを育成していくことが重要と考えています。

『酒々井・C周辺等の土地利用』

問 市道〇一〇〇七号線の整備方針は。

答 市道〇一〇二二号線から国道四〇九号を交差し、市道〇一〇〇八号線までの延長約一・二キロメートルで事業着手、平成26年度に測量、設計等を実施する予定で、幅員は、現在検討中です。

問 市街化調整区域における地区計画ガイドライン等の運用状況は。

答 昨年8月運用開始以降、土地利用方針に基づく具体的な地区計画の提案はありません。

公明党

大川原きみ子

問 平成26年度施政方針について



答 自立性の高い持続可能な財政運営を図ります

問 高齢者支援について。

答 本市の高齢化率は平成26年1月末現在二一・六％に達し、七五歳以上の方は七八％になります。「高齢者地域コミュニティ形成事業」を実施しひきこもりを防止とともに見守りを行います。

問 高齢者が住みなれた地域で生活できるよう、介護の連携・在宅医療・認知症支援・生活支援などの地域包括ケアシステムの構築について。

答 平成26年度に策定する計画の中で中学校区ごとの地域包括支援センターの設置の方向性を決定していきます。

問 子育て支援について。

答 病児・病後児保育の実施に向けて市内医療機関と協議を進めているところです。また待機児童の解消に向け幼稚園・保育の総合的な提供と地域の子育ての充実を図ります。

家庭児童相談室の相談員を一名増員し、五名の相談員体制でDVや子育ての相談業務の充実を図ります。

『平成26年度予算編成について』

問 消費増税による市の地方消費税交付金は平成26年度二億二、〇〇〇万円増となります。地方税法では引き上げ分の地方消費税の使途について「社会保障施策に要する経費に充てるものとする」と書かれています。増となる地方消費税の使途についてお伺いします。

答 引き上げ分の地方消費税の使途は交付金の二分の二を充てる事とすることから市は一億六六万七、〇〇〇円を社会保障費に充当しました。

とみの風

五十嵐博文

問 五輪開催をどのように捉えているか



答 これからのまちづくりの好機と捉えています

『さらなる成長に向けた歳入増加の根源の強化について』

問 状況に左右されない財政基盤は重要。そのために市税増加は最も取り組むべき課題では。

答 担税力のある、子育て世代の定住促進の必要性を感じています。

問 五輪が後押しとなって生じる付随効果へ期待すべき。千葉県はオール千葉で臨むとしているが、その前に望んでもらえる付随効果への準備をすべきでは。

答 今後どういったアプローチがよいのか調査検討していきます。

問 競走馬・乗馬クラブ数は調べた限り、県内一位、関東でも上位である。乗馬利用者は年間二万人以上が訪れている。これだけの資源を認識すべきでは。

答 今後参考にしながら、どのように有効利用できるか検討します。

問 連絡協議会を設置し、五輪開催までに馬の里の地盤を積み上げるべきでは。

答 可能な限りやっていければと思います。

問 五輪では富里農業の格上げをしていくことを目標として、さらに付加価値をつけるために岩崎家末廣別邸を含めながら物語を組みながら、ブランド化に着手すべきでは。

答 生産者と調整を図っていきます。五輪は契機の一つであると理解しています。

問 小規模企業の強みは、顔が見える信頼関係からのビジネス。信頼は事業者により生むのであれば、顔が見える機会は市が生むべき。両輪となり回復すべきでは。

答 地域も加えた中で行うべきと考えます。

高橋祐子

問 図書館の祝日開館について



答 新年度から祝日・振替休日の開館を試行します

『学校給食について』

問 国産食材と地場食材それぞれの目標％、現行％は。

答 市として目標値はありません。現行、国産食材七八・三％、市内産含めた県産三三・四％、市内産一四・四％です。

問 市内産より市外産が四・五％も高く、まだまだ取り組む余地があると考える。国内産は国の指標八〇％に達していないが、努力する考えはあるか。

答 できるだけ早く使用比率の逆転と国の目標八〇％を達成するよう努力します。

問 米や主菜などの代表的な仕入れ先は。答 地元産米や野菜類を富里市農協より購入しています。

『災害時要援護者名簿と個別計画について』

問 災害対策基本法の改正に伴い、市の取り組みは大きく変わるが、今後の予定は。

答 市の地域防災計画策定後、新たな「避難行動要支援者名簿」の完成は平成26年度末、地域関係者への名簿提供は27年度内、個別計画の策定は28年度以降となります。

『スカイロードレースについて』

問 経済波及効果の算出について県の連関表を使って試算してみてもどうか。

答 調査・研究してまいります。

『農林漁業の健全な発展と調和のとれた再生可能エネルギー電気の発電の促進に関する法律について』

問 5月までに法律が施行されるが、市長の所感は。

答 しっかりと調査研究してまいります。

岡野耕平

問 ヤードの現状の把握について



答 市内に一三事業所があります

問 周囲が鋼板で囲まれており、可視化が必要と思うが。

答 県から意見照会があった場合、必要に応じて意見書を出したいと思っています。

問 立入り検査、指導や査察は。

答 市の職員には権限がなく、単独ではできないが、県と連携していきます。

問 緑豊かな農住都市を守っていくためにどのような認識を持っているか。

答 環境保護は重要であり、許可業者は廃油、廃液等は規制どおり行うと思います。

問 廃油、廃液等の地下浸透の防止を含め市独自の条例や要綱の制定が必要と思うが。

答 県の条例が制定されるので、富里市独自のものは、難しいです。

『商工・サービス業の活性化について』

問 創業支援で独立開業育成資金があるが、利用はどのくらいあったか。

答 ありませんでした。

問 女性やシニア世代の創業支援は。

答 新たな分野での発展に期待しています。

『成田空港の現状について』

問 臨空都市とみさとをどのような方向に持っていく考えか。

答 地理的条件を生かしたまちづくりを考えています。

問 早朝の離着陸制限の見直しを働きかける考えは。

答 空港周辺の九市町の合意の上慎重に判断をしていきます。

問 東京オリンピックや首都直下地震等を考え、第三滑走路建設への提言は。

答 その考えはありません。

布川好夫

問 東京オリンピックの認識と取り組みについて



答 開催決定を追い風として捉え調査研究します

『防犯対策と管理について』

問 富里中央公園、大銀杏公園、ふるさと自然公園等について。

答 大銀杏公園は、施設破損などの抑止や防犯の目的から防犯カメラを三台設置しています。

問 公園利用者にとっても安心と安全につながり、警察への情報源としても活用されます。富里中央公園やふるさと自然公園にも設置するべきと考えますが。

答 防犯カメラは、犯罪などの抑止力としての効果は大きいと認識しています。今後は、設置場所等を十分精査しながら検討いたします。

問 駐車場について、庁舎、富里中央公民館の駐車スペースについて。

答 利用者も多いので、庁舎、中央公民館の余裕がある駐車スペースを、庁舎耐震工事、新保健センター等の建設も予定していますので、今後検討いたします。

『中小企業支援策について』

問 創業支援と相談事業者への窓口について。

答 中小企業資金融資制度にて、独立開業育成資金として特別枠を設け創業支援を行っています。産業競争力強化法では、創業支援事業計画を市町村が作成し、この中で相談窓口などの支援体制の方法も、計画するものとされています。商工会や金融機関と連携し検討いたします。

『健診（検診）事業について』

問 平成26年度の実施方法について。

答 5月14日から7月31日までの間で、三二日間、市内二〇カ所を実施予定です。

井上 康

問 富里市の地域包括ケアシステムは



答 地域の特性に応じた体制づくりを目指します

問 市内高齢者のニーズや特徴は。

答 ひとり暮らし高齢者や認知症の高齢者が増加し、在宅支援サービス等の充実や相談体制の充実を望む声が多く、また交通手段の少ない当市では外出支援策の必要性が強い点が特徴です。

問 富里市の特徴を踏まえたケアシステムづくりが大事、市の方針は。

答 重度な要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域の特性に応じた体制を目指します。

医療・福祉・介護・リハビリなどの各職種との連携を強化し、職員の知識向上や人材育成に努めます。

地域包括支援センターは現在高齢者福祉課の一つですが、三つに拡充します。認知症対策として市民向け講座を拡大し、市民後見人の育成を検討します。

『教育環境の向上について』

問 先生が熱意を失わず生徒と向き合える環境が大事、育成と評価の現状は。

答 初任者研修、五年目以下教職員研修、夏休み中の研修、教科別の研修などの各種研修に加え、ベテラン教師が若手教師の授業や学級経営、生徒指導などについて悩みや相談を聞き、アドバイスや指導を行っています。

さらにお互いの授業を見合い、集団で積極的に能力の向上を図っていくようとしています。

校長等も各教室を回り授業や生徒指導のアドバイスを行っており、円滑なコミュニケーションを図っています。

高橋益枝

問生活困窮者自立支援法について



答平成27年4月1日から施行されます

問生活保護世帯の平成24年度住宅扶助世帯数は。

答二八〇世帯です。

問平成27年4月1日までの計画について、生活保護に至る前の生活困窮者に対し、就労の支援、相談、情報提供、住居確保給付金の支給をします。事業開始に向けて、事業の委託も検討の上、実施体制の整備を進めてまいります。

問事業の委託については。

答社会福祉協議会や社会福祉法人、NPOなどへの委託も可能とされています。

『国の文化芸術による「創造力・想像力」豊かな子供の育成について』

問巡回公演事業、芸術家の派遣事業、コミュニケーション能力向上事業については。

答小学校・中学校において一流の文化芸術団体による実演芸術巡回公演を行うことにより、子供たちの豊かな創造力・想像力や思考力、コミュニケーション能力などを養うとともに、将来の芸術家や観客層を育成し、義務教育諸学校が申請するものです。

問伝統文化親子教室事業については。

答子供たちが親とともに、民俗芸能、工芸技術、邦楽、日本舞踊、茶道、華道などの体験・修得できる機会を提供するもので、各種文化団体やNPO法人が申請するものです。

次代を担う子供たちが、文化芸術に触れ、親しむ機会を提供することは大変重要であると認識しています。

柏崎のり子

問未婚母子世帯にも「寡婦控除」のみなし適用を



答大変な生活と承知しています。検討します

問婚姻歴のない母子家庭は「寡婦控除」の適用がないため課税所得が高く設定され保育料算定、県営住宅利用にも影響があり大きな不利益となります。未婚母子世帯の状況について伺います。

答現在四一世帯で、所得別では、所得ゼロ、一〇〇万円以下、一〇〇万円台、二〇〇万円台です。年齢は二〇歳代から四〇歳代となっております。

問年収約二〇一万円の未婚世帯を例とした保育料の影響額について。

答子ども一人世帯で月当たり四、〇〇〇円から二万一、〇〇〇円になると思われます。

問税の比較では、所得税二万八、三〇〇円、住民税六万三、一〇〇円課税され、結婚歴のある母子家庭とは年間八万六〇〇円もの差額が生じるがどうか。

答国の税制改正を注視します。

問みなし寡婦控除は県内すでに実施の市もあり未婚母子家庭支援の検討を求めます。市長の政治判断で実施できます。

答大変な生活と承知し、検討します。

『文化的財産のあり方と今後の対応は』

問旧岩崎別邸の一般公開までの議論の積み上げ、期間、必要経費の見込み額は。

答専門会議の場を設けて整備活用計画の策定に努めます。公開までの必要経費等はまだ提示できない状況です。

問藤崎牧士史料館から貴重な美術品、古文書等四、〇〇〇点以上の寄附があり、今後専門的知識を有する学芸員の人材が必要と考えます。

答重要なことなので十分検討します。

窪田 優

問認知症に対する市の取り組みについて



答認知症サポーター養成講座を開催します

問文教厚生常任委員会で福井県若狭町の認知症高齢者を地域で支える先進事例を視察しました。市民に正しい知識と理解を広める体制づくりの事業展開をされています。「認知症サポーター養成講座」、認知症に関する早期の診断を行う「生活支援アンケート」の導入等が早期発見、早期診療につながっています。小中学校、地区公民館などでの住民講座、サロン活動を通して支援のための体制をつくっています。富里市でも実施できませんか。

答平成26年度に児童生徒が対象の認知症サポーター養成講座を予定しています。

『高齢者の地域「ミニユニティ」醸成』

問平成20年6月議会でも取り上げました高齢者が日常いる場所として、日吉台一丁目から六丁目の地区には北部コミセンだけです。どうして他に何もないのか。

答「富里市地域集会所建設費補助金要綱」がありますがこの地域にはこの要綱の恩恵を受けるチャンスがありません。税金の使われ方としてこれでいいのか。

答議員の言われる空き家を借りて、というのは検討したいが、空き家も持ち主がいいます。調べなければならぬのでもう少し時間をください。

問一朝一夕にできるわけではないし、ミニシャルコストは市が、ランニングコストは地域が持つ。昔、五丁目公園にあった建物がコミセンができるからという理由で壊されたことがあります。私はしっかり記憶しています。それを踏まえればもう少し真剣に考えていただけませんか。

答真剣に考えています。

議員研修

議会運営委員会視察

期日：2月3日及び2月4日の2日間

視察地及び視察事項：

- (1) 京都府綾部市議会 議会運営等について
 (2) 静岡県菊川市議会 議会改革（政策討論会）等について

空港対策特別委員会視察

期日：3月24日及び3月25日の2日間

視察地及び視察事項：

- (1) 成田国際空港 羽田空港の国際化による成田空港への影響について
 施設整備等の進捗状況について
 (2) 福岡空港 福岡空港の現状と今後の計画について

意見書を提出

◆新聞への消費税軽減税率適用を求める意見書

（提出先）衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣

編集後記

最近、新聞を読んでいて目にとまった中高年男性関連の記事から。子供が巣立った後の生き方も難しい。

新聞に定年退職した夫と住んでいる六〇代主婦の人生相談が載っていました。悩みは夫の幼児化だった。働いている時は部下に厳しく、子供たちにも尊敬されていたが、今は朝起きると「何を着ればいい？」具合が悪いと「病院は行ったほうがいい？」。夫人が出かけようとするといってきたが、「奥様依存症」だという。夫には定年までの人生の疲れが流出し妻に向かっている。今の夫には部下や同僚は妻しかいない。あなたが夫を育て直しましょう、というものでした。

本格的な人口減少や少子高齢化が進行する中、幅広い分野で御活躍された方々に、地域経済の活性化や、ミニユニティ形成などに貢献していただけるよう、情報の提供など努めてまいりたいと思います。最後に、市議会の活動状況を市民の皆さんにわかりやすくお届けできるように、議会報編集委員として努力してまいります。

（委員 布川好夫 記）

議会を傍聴しませんか

6月定例会は6月2日(月)から開会予定です。

※詳しい日程などは議会事務局にお問い合わせください。
 ※本会議の様子は市民課ロビー（市庁舎一階）のテレビやインターネット（ライブ・録画）でもご覧いただくことができます。
 ※本会議の録画映像は、当該本会議の会議録が作成されるまでの間（おおむね2カ月）、市議会ホームページに掲載しています。

ご意見・ご感想をお寄せください！

議会報を読んで感じたことなど、皆様のご意見をお待ちしております。また、議会報は市議会ホームページでもご覧いただくことができます。

〒286-0292 富里市七栄652-1 議会事務局
 TEL. 0476-93-6492 FAX. 0476-91-3595

富里市議会ホームページアドレス

<http://www.city.tomisato.lg.jp/category/2-3-0-0-0.html>